

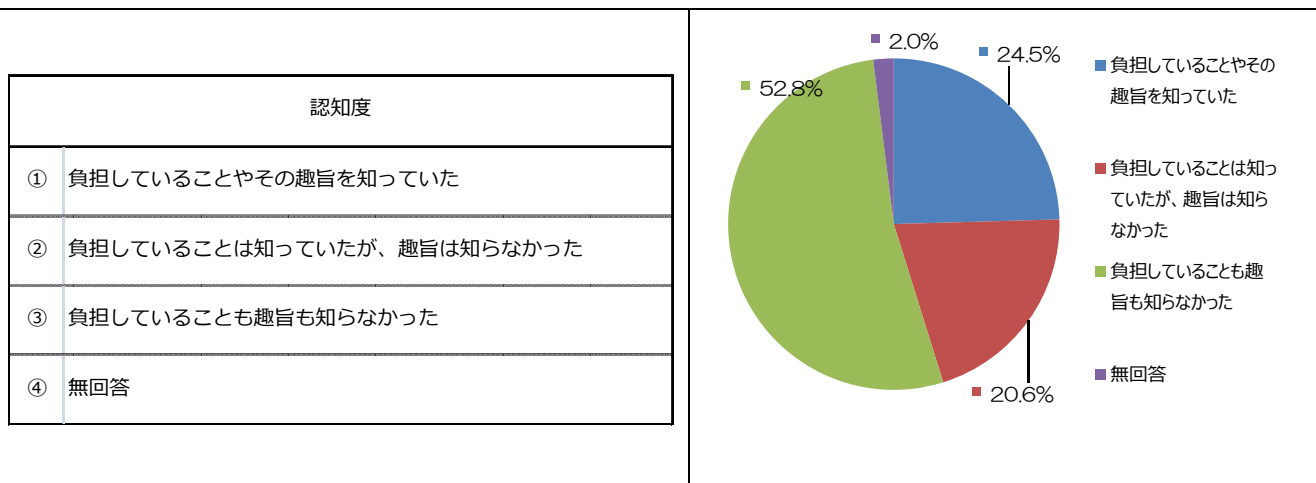
3 やまがた緑環境税に関するアンケート結果

◆調査対象：県政アンケート

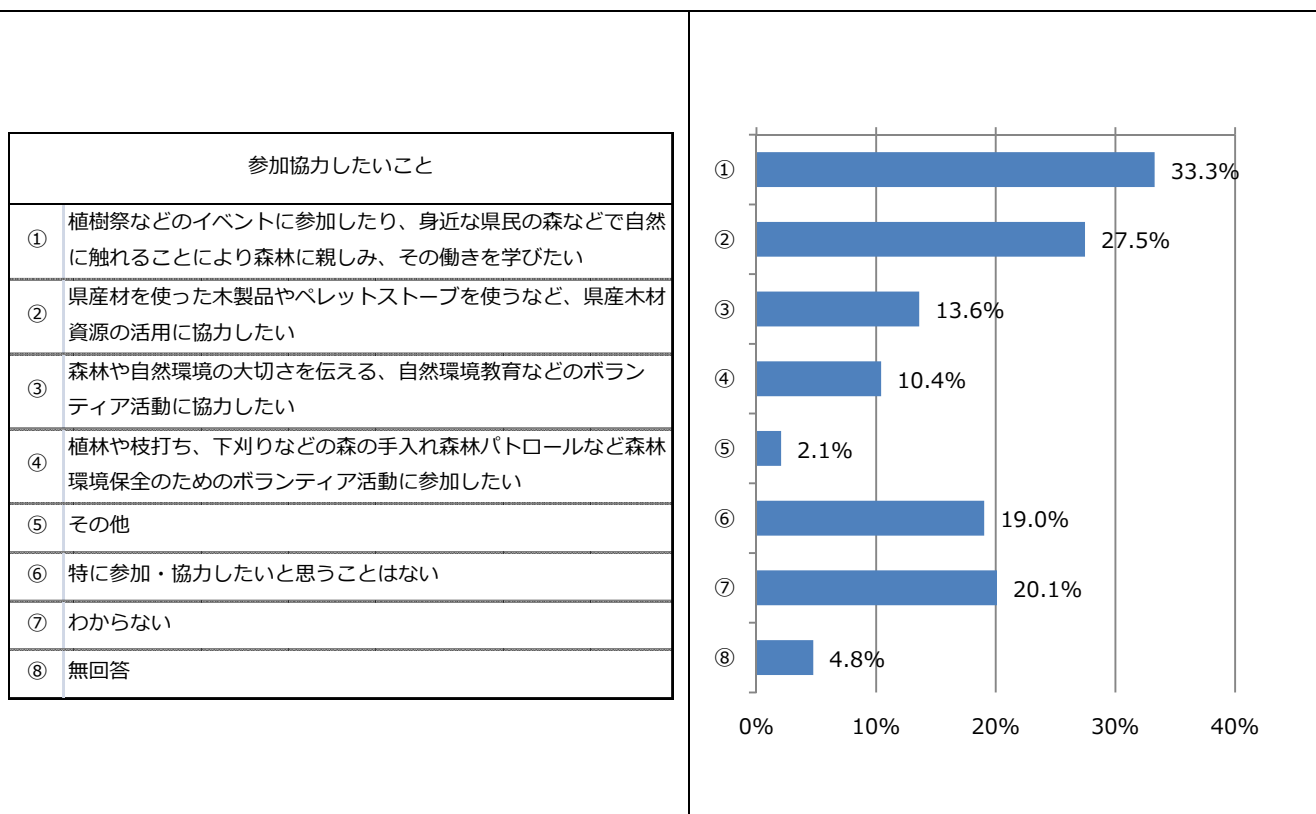
<調査の概要>

- 1 対象：県内在住の20歳以上の男女
- 2 期間：平成27年5月下旬～6月中旬
- 3 回答：1,773名

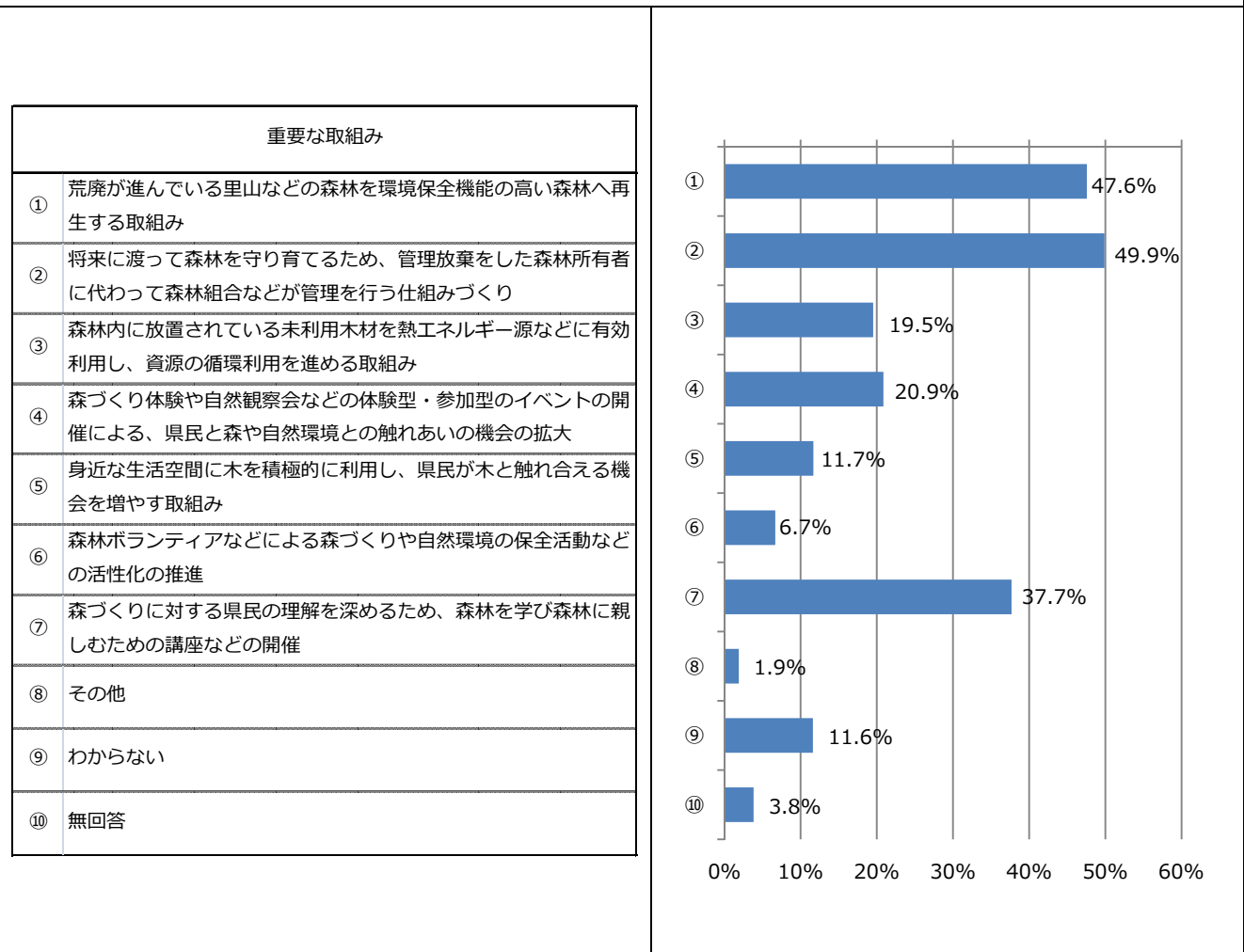
問1 やまがた緑環境税制度が平成19年4月からスタートしましたが、あなたは「やまがた緑環境税」や税の趣旨について知っていましたか。(1つ選択)



問2 県民みんなで支える森づくりのために、あなたは、どのようなことに参加・協力したいと思いますか。(3つまで選択)



問3 やまがた緑環境税を活用して森づくりを進めるにあたって、あなたは、どのような取組みが重要だと思いますか。(3つまで選択)



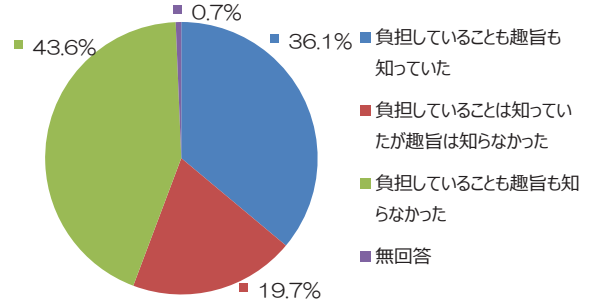
◆調査対象：個人

<調査の概要>

- 1 対象：県内居住の満20歳以上の男女
- 2 期間：平成27年9月～12月
- 3 回答：2,892人

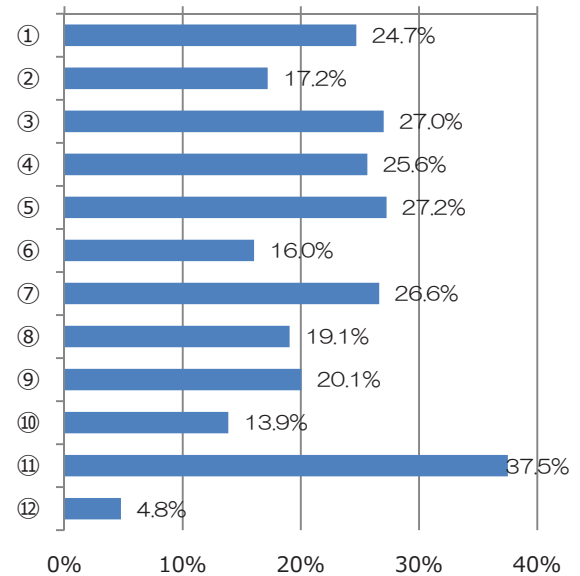
問1 あなたは「やまがた緑環境税」や税の趣旨について知っていますか。(1つ選択)

認知度	回答数
① 負担していることも趣旨も知っていた	1,043
② 負担していることは知っていたが趣旨は知らなかった	569
③ 負担していることも趣旨も知らなかった	1,261
④ 無回答	19
計	2,892



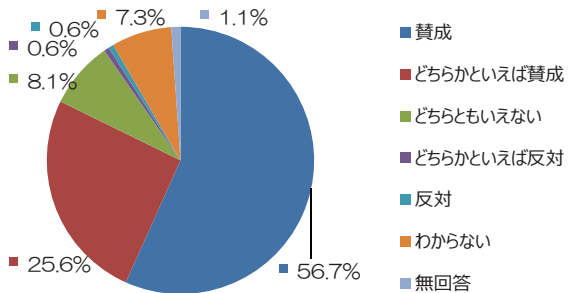
問2 やまがた緑環境税は次の事業に活用されていますが、知っていますか。(知っているもの全て選択)

事業の認知度	回答数
① スギ人工林に広葉樹を導入し、水資源の保全など公益機能の高い森林を育成	714
② 再造林や間伐などの施業を一元管理し、森林の公益的機能を持続的に発揮する仕組みを構築	497
③ 被害木の伐採などにより、病虫害等で荒れた里山林を再生	781
④ 未利用木材を、木質バイオマス燃料などとして有効利用する取組み	741
⑤ 森づくり体験や自然観察会などの体験型イベントの開催による、森や自然環境との触れ合いの機会の拡大	788
⑥ 身近な生活空間に木を積極的に利用し、県民が木と触れ合える機会を増やす取組み	464
⑦ 森林ボランティアなどによる、森づくりや自然環境の保全活動などの活性化の推進	770
⑧ 企業が、県や森林所有者と協働で森づくり活動を行う「やまがた絆の森プロジェクト」の推進	551
⑨ 森づくりに対する県民の理解を深めるため、小学生等を対象とした森林を学び森林に親しむための講座などの開催	580
⑩ クマなどの野生動物や希少な動植物、山の実のりなど、森林内の生き物に関する調査	401
⑪ わからない	1,085
⑫ 無回答	138



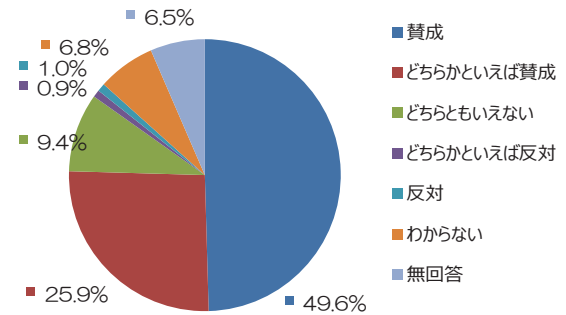
問3 あなたは、これまでやまがた緑環境税を活用して進めてきた取組みについてどう思いますか。(1つ選択)

使いみち	回答数
① 賛成	1,640
② どちらかといえば賛成	739
③ どちらともいえない	234
④ どちらかといえば反対	18
⑤ 反対	18
⑥ わからない	211
⑦ 無回答	32
計	2,892



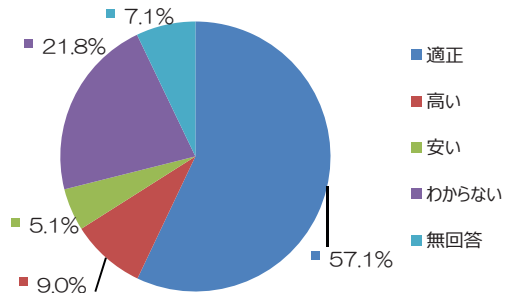
問4 今後も引き続きやまがた緑環境税を継続することについて、あなたはどのように考えますか。(1つ選択)

継続	回答数
① 賛成	1,433
② どちらかといえば賛成	749
③ どちらともいえない	271
④ どちらかといえば反対	25
⑤ 反対	28
⑥ わからない	198
⑦ 無回答	188
計	2,892



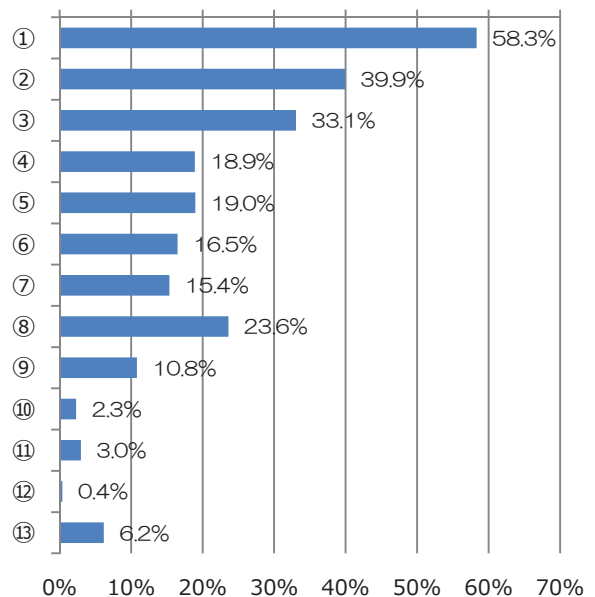
問5 やまがた緑環境税の税額について、あなたはどのように考えますか。(1つ選択)

税額	回答数
① 適正	1,650
② 高い	259
③ 安い	147
④ わからない	630
⑤ 無回答	206
計	2,892



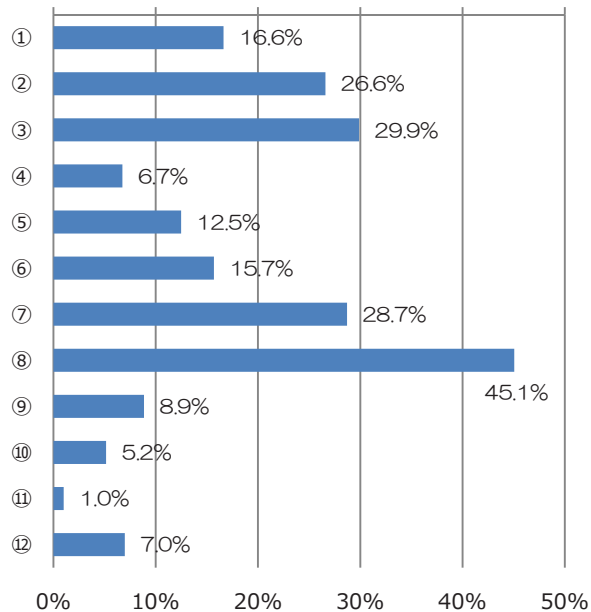
問6 あなたは、今後、森林のどのような働きに期待しますか(3つまで選択)

森林の働き	回答数
① 山崩れや洪水などの災害を防止する働き	1,687
② 地球温暖化防止に貢献する働き	1,155
③ 水資源を蓄える働き	956
④ 空気をきれいにしたたり、騒音をやわらげる働き	547
⑤ 心身の癒しや安らぎの場を提供する働き	549
⑥ 住宅用建材や家具、紙、バイオマスエネルギーなどの原材料となる木材を生産する働き	477
⑦ 貴重な野生動植物の生息の場としての働き	444
⑧ 自然に親しみ、森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き	683
⑨ きのごや山菜などの林産物を生産する働き	313
⑩ 特にない	67
⑪ わからない	86
⑫ その他	11
⑬ 無回答	179

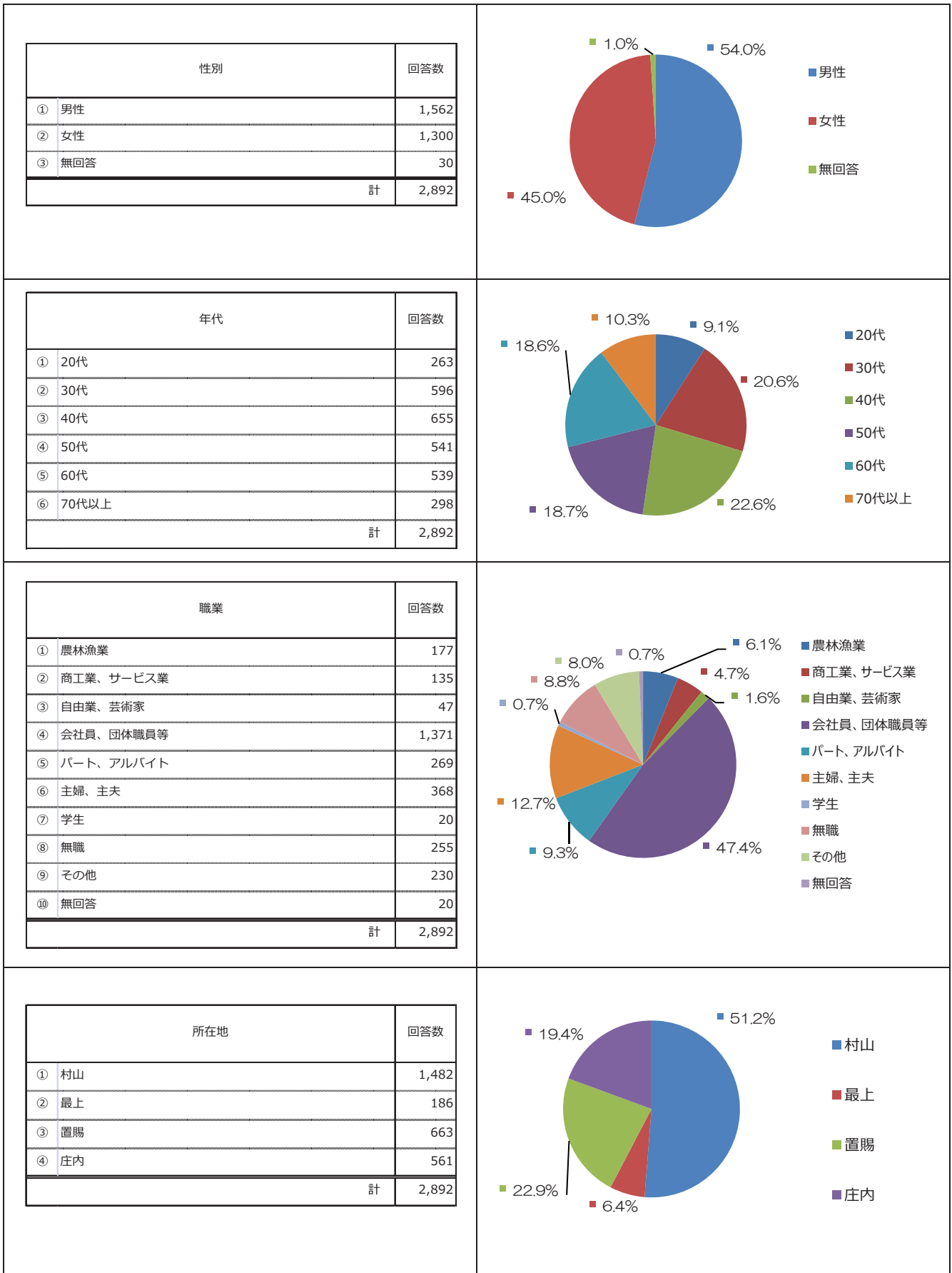


問7 あなたは、森林に関わることでどのようなことをしてみたいと思いますか。(3つまで選択)

森林との関わり	回答数
① 植林や下刈りなどの育林作業に参加したい	481
② 県民の森など身近で安心な場所で森林に親しみ、森の案内人の方々から様々な知識を学びたい	769
③ 山形県産の木製品や薪を使うなど、県産木材資源の活用に関心がある	864
④ 森林環境学習などについて学び、指導者として活動に関心がある	195
⑤ 森林内に生息する動植物の保全活動や、生き物調査に参加したい	361
⑥ 気の合う仲間とサークルを作り、自然の中で行う様々な活動に関心がある	454
⑦ 山菜やきのこを育てることで、山の恵み・大切さを実感したい	830
⑧ 森林浴により心身の気分転換を図りたい	1,303
⑨ 特になし	256
⑩ わからない	149
⑪ その他	29
⑫ 無回答	202



<調査対象の属性>



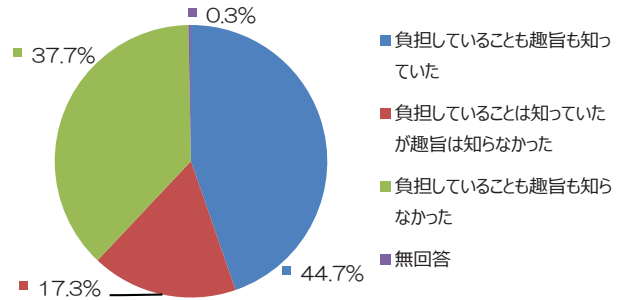
◆調査対象：法人

<調査の概要>

- 1 対象：山形県法人会連合会 会員
- 2 期間：平成27年9月～11月
- 3 回答：640社

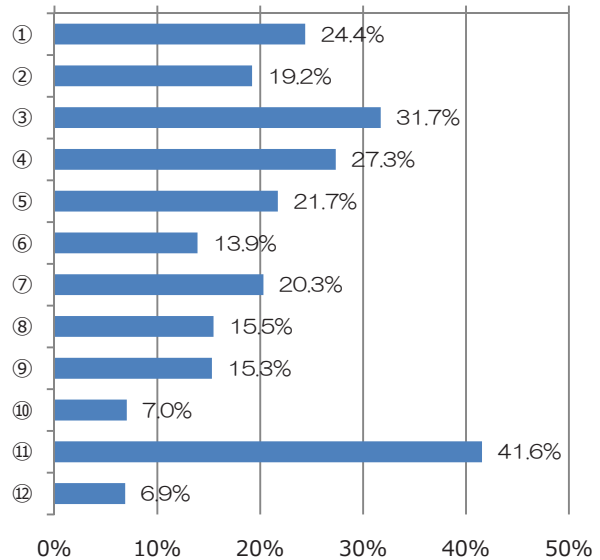
問1 貴社は「やまがた緑環境税」や税の趣旨について知っていますか。(1つ選択)

認知度	回答数
① 負担していることも趣旨も知っていた	286
② 負担していることは知っていたが趣旨は知らなかった	111
③ 負担していることも趣旨も知らなかった	241
④ 無回答	2
計	640



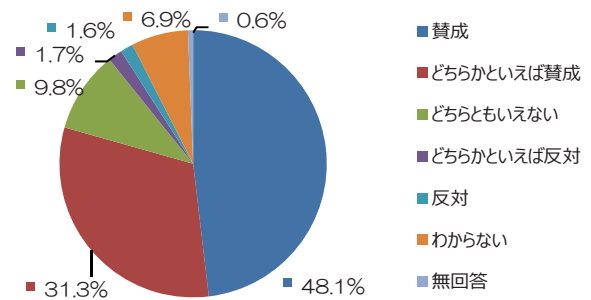
問2 やまがた緑環境税は次の事業に活用されていますが、知っていますか。(知っているもの全て選択)

事業の認知度	回答数
① スギ人工林に広葉樹を導入し、水資源の保全など公益機能の高い森林を育成	156
② 再造林や間伐などの施業を一元管理し、森林の公益的機能を持続的に発揮する仕組みを構築	123
③ 被害木の伐採などにより、病害虫等で荒れた里山林を再生	203
④ 未利用木材を、木質バイオマス燃料などとして有効利用する取組み	175
⑤ 森づくり体験や自然観察会などの体験型イベントの開催による、森や自然環境との触れ合いの機会の拡大	139
⑥ 身近な生活空間に木を積極的に利用し、県民が木と触れ合える機会を増やす取組み	89
⑦ 森林ボランティアなどによる、森づくりや自然環境の保全活動などの活性化の推進	130
⑧ 企業が、県や森林所有者と協働で森づくり活動を行う「やまがた絆の森プロジェクト」の推進	99
⑨ 森づくりに対する県民の理解を深めるため、小学生等を対象とした森林を学び森林に親しむための講座などの開催	98
⑩ クマなどの野生動物や希少な動植物、山の実のりなど、森林内の生き物に関する調査	45
⑪ わからない	266
⑫ 無回答	44



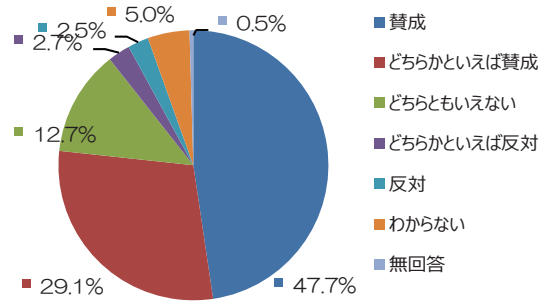
問3 貴社は、これまでやまがた緑環境税を活用して進めてきた取組みについてどう思いますか。(1つ選択)

使いみち	回答数
① 賛成	308
② どちらかといえば賛成	200
③ どちらともいえない	63
④ どちらかといえば反対	11
⑤ 反対	10
⑥ わからない	44
⑦ 無回答	4
計	640



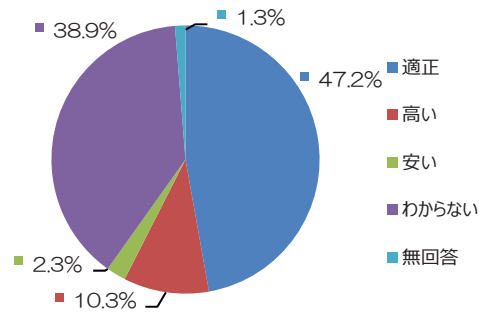
問4 今後も引き続きやまがた緑環境税を継続することについて、貴社はどのように考えますか。(1つ選択)

継続	回答数
① 賛成	305
② どちらかといえば賛成	186
③ どちらともいえない	81
④ どちらかといえば反対	17
⑤ 反対	16
⑥ わからない	32
⑦ 無回答	3
計	640



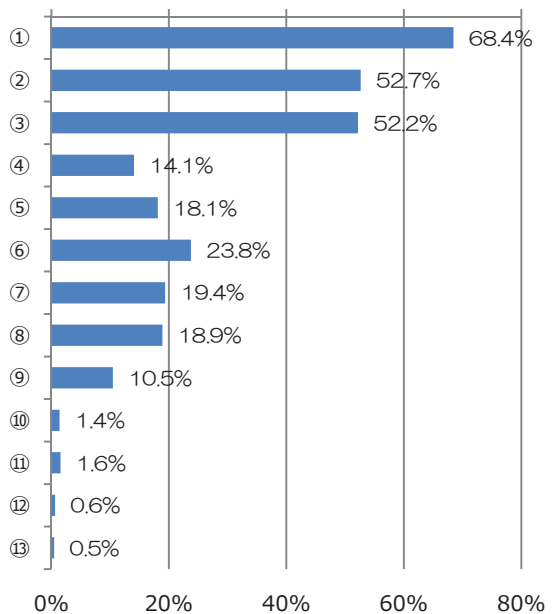
問5 やまがた緑環境税の税額について、貴社はどのように考えますか。(1つ選択)

税額	回答数
① 適正	302
② 高い	66
③ 安い	15
④ わからない	249
⑤ 無回答	8
計	640



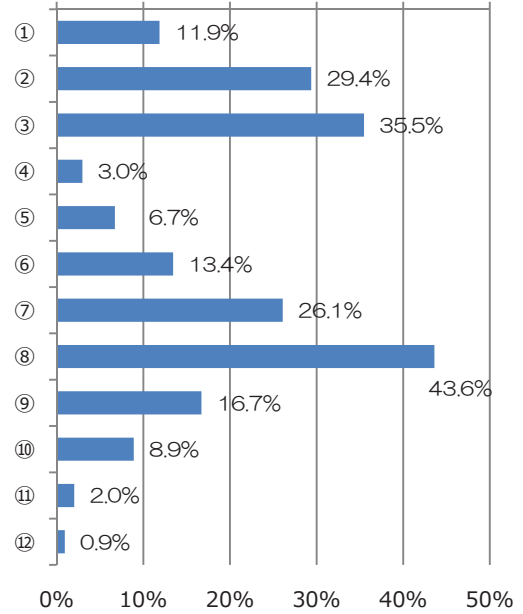
問6 貴社は、今後、森林のどのような働きに期待しますか。(3つまで選択)

森林の働き	回答数
① 山崩れや洪水などの災害を防止する働き	438
② 地球温暖化防止に貢献する働き	337
③ 水資源を蓄える働き	334
④ 空気をきれいにしたり、騒音をやわらげる働き	90
⑤ 心身の癒しや安らぎの場を提供する働き	116
⑥ 住宅用建材や家具、紙、バイオマスエネルギーなどの原材料となる木材を生産する働き	152
⑦ 貴重な野生動物の生息の場としての働き	124
⑧ 自然に親しみ、森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き	121
⑨ きのごや山菜などの林産物を生産する働き	67
⑩ 特になし	9
⑪ わからない	10
⑫ その他	4
⑬ 無回答	3



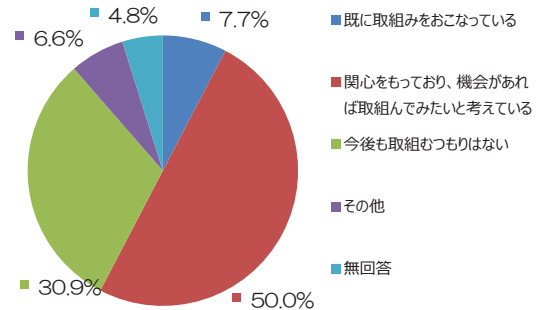
問7 あなたは、森林に関わることでどのようなことをしてみたいと思いますか。(3つまで選択)

森林との関わり		回答数
①	植林や下刈りなどの育林作業に参加したい	76
②	県民の森など身近で安心な場所で森林に親しみ、森の案内人の方々から様々な知識を学びたい	188
③	山形県産の木製品や薪を使うなど、県産木材資源の活用に協力したい	227
④	森林環境学習などについて学び、指導者として活動に協力したい	19
⑤	森林内に生息する動植物の保全活動や、生き物調査に参加したい	43
⑥	気の合う仲間とサークルを作り、自然の中で行う様々な活動に協力したい	86
⑦	山菜やきのこを育てることで、山の恵み・大切さを実感したい	167
⑧	森林浴により心身の気分転換を図りたい	279
⑨	特になし	107
⑩	わからない	57
⑪	その他	13
⑫	無回答	6



問8 貴社は、森林を活用した社会貢献活動（CSR）を行ってみたいと思いますか。(1つ選択)

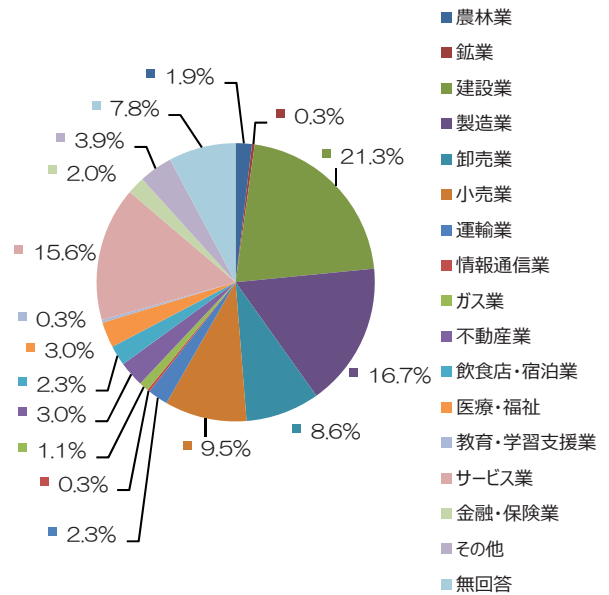
税額		回答数
①	既に取り組みをおこなっている	49
②	関心をもっており、機会があれば取り組んでみたいと考えている	320
③	今後も取り組むつもりはない	198
④	その他	42
⑤	無回答	31
計		640



<回答した法人の内訳>

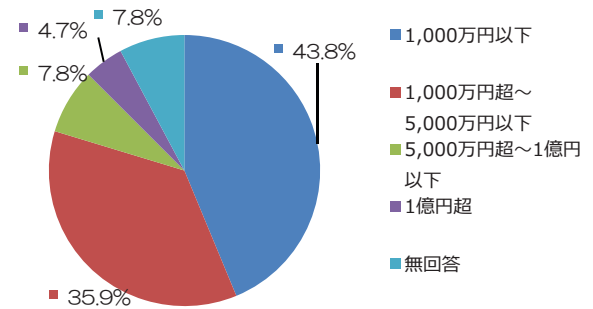
業種

回答法人の業種	回答数
① 農林業	12
② 鉱業	2
③ 建設業	136
④ 製造業	107
⑤ 卸売業	55
⑥ 小売業	61
⑦ 運輸業	15
⑧ 情報通信業	2
⑨ ガス業	7
⑩ 不動産業	19
⑪ 飲食店・宿泊業	15
⑫ 医療・福祉	19
⑬ 教育・学習支援業	2
⑭ サービス業	100
⑮ 金融・保険業	13
⑯ その他	25
⑰ 無回答	50
計	640



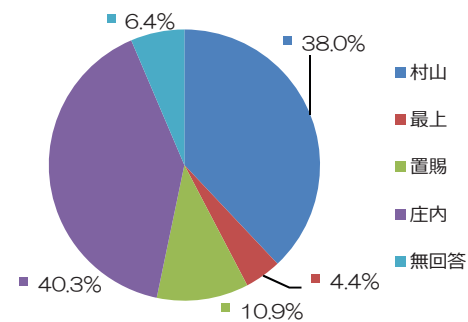
資本金

回答法人の資本金	回答数
① 1,000万円以下	280
② 1,000万円超～5,000万円以下	230
③ 5,000万円超～1億円以下	50
④ 1億円超	30
⑤ 無回答	50
計	640



所在地

回答法人の所在地	回答数
① 村山	243
② 最上	28
③ 置賜	70
④ 庄内	258
⑤ 無回答	41
計	640



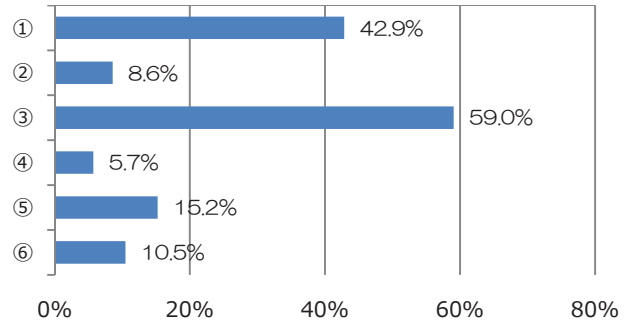
◆調査対象：公募団体

<調査の概要>

- 1 対象：平成27年度県民みんなで支える森・みどり環境公募事業実施団体
- 2 期間：平成27年10月～11月
- 3 回答：105団体

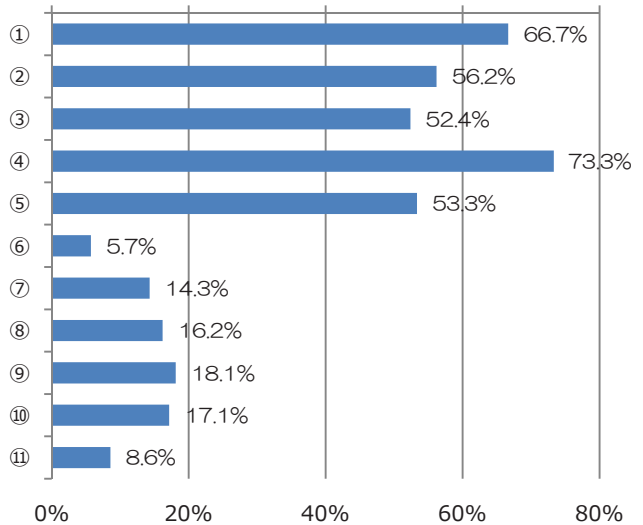
問1 貴団体は公募事業を何により知りましたか。(該当するもの全て選択)

知った経緯	回答数
① 県のHPや広報誌・パンフレット	45
② 市町村のHPや広報誌・パンフレット	9
③ 県や市町村の担当課	62
④ 新聞・マスコミ	6
⑤ 他の活動団体から	16
⑥ その他	11



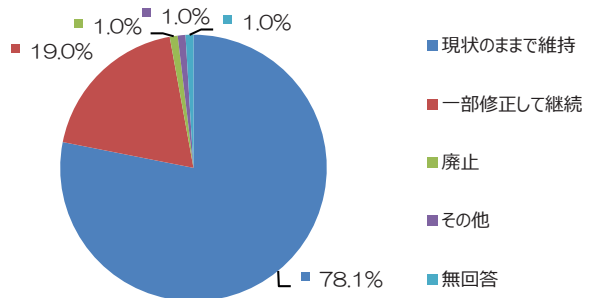
問2 公募事業の実施により、どのような成果があったとお考えですか。(該当するもの全て選択)

事業の成果	回答数
① 森林に関する地域活動の活性化	70
② 森づくり活動による地域間交流の拡大	59
③ 森林・林業に関心がある住民の増加	55
④ 子どもたちへの森林環境教育の充実化	77
⑤ 森林整備による地域環境の改善	56
⑥ 林業後継者の育成	6
⑦ 野生動物との共存	15
⑧ 希少野生動植物の保全	17
⑨ 県産材の利活用、普及啓発	19
⑩ 木質バイオマスの利活用	18
⑪ その他	9



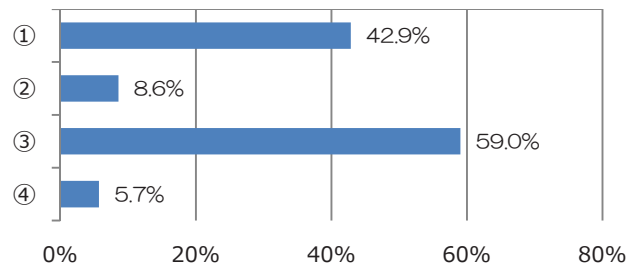
問3 公募事業の今後(平成29年度以降)の展開について、どのようにお考えですか。(1つ選択)

今後の展開	回答数
① 現状のままで維持	82
② 一部修正して継続	20
③ 廃止	1
④ その他	1
⑤ 無回答	1
計	105



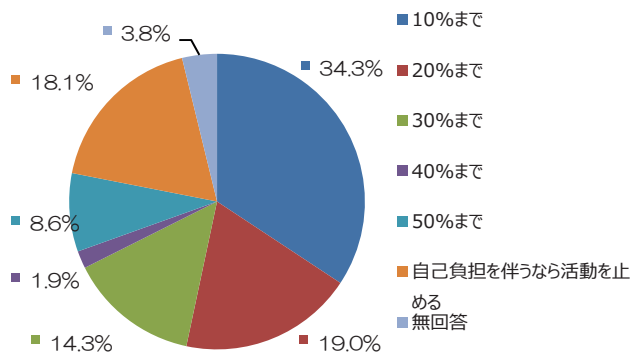
問5 貴団体の活動経費に関する公募事業以外の財源についてお尋ねします。(該当するもの全て選択)

公募事業以外の財源		回答数
①	会員から定期的に会費を徴収している	45
②	活動毎に参加者から参加費を徴収している	9
③	その他の財源	62
④	公募事業以外に財源は無い	6



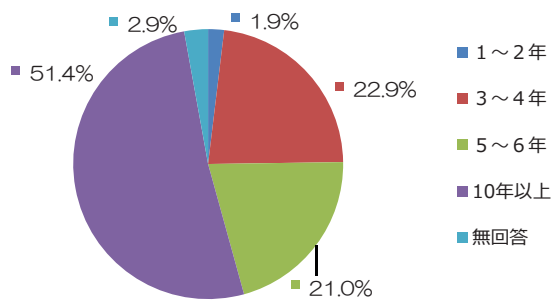
問6 どれくらいまでの自己負担が可能と思われますか。(1つ選択)

自己負担可能な割合		回答数
①	10%まで	36
②	20%まで	20
③	30%まで	15
④	40%まで	2
⑤	50%まで	9
⑥	自己負担を伴うなら活動を止める	19
⑦	無回答	4
計		105



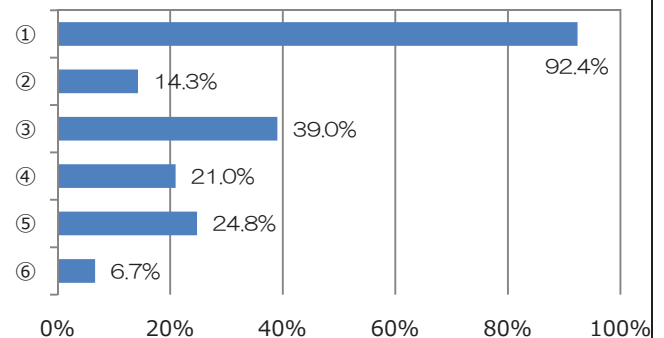
問7 公募事業への連続申請期間は何年位が適当と考えますか。(1つ選択)

連続申請期間		回答数
①	1～2年	2
②	3～4年	24
③	5～6年	22
④	10年以上	54
⑤	無回答	3
計		105



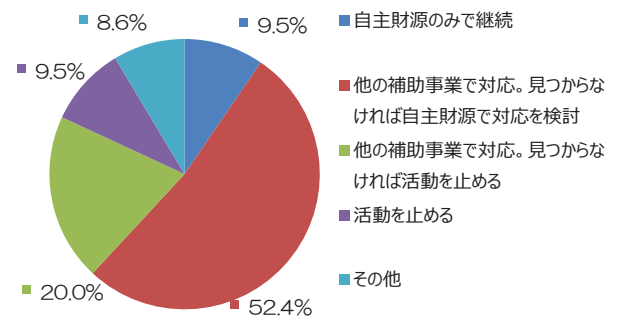
問8 貴団体が、継続的かつ実践的な森づくり活動を進めていく上で、どのような支援が必要ですか。(3つまで選択)

必要な支援		回答数
①	活動に必要な経費	97
②	森づくりフィールド等情報の提供	15
③	活動時の技術的支援	41
④	クワなどの資材の貸出	22
⑤	団体指導者クラスの研修・育成	26
⑥	その他	7



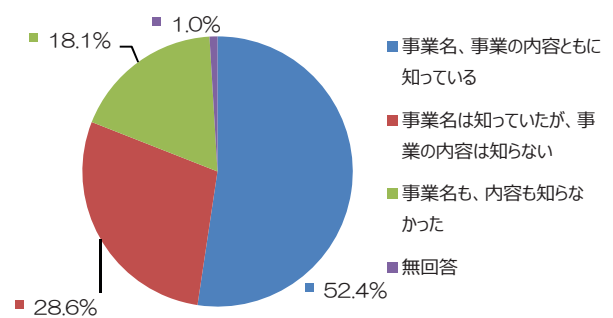
問9 公募事業が廃止となった場合、現在の活動についてどう対応しますか。(1つ選択)

廃止後の活動		回答数
①	自主財源のみで継続	10
②	他の補助事業で対応。見つからなければ自主財源で対応を検討	55
③	他の補助事業で対応。見つからなければ活動を止める	21
④	活動を止める	10
⑤	その他	9
計		105



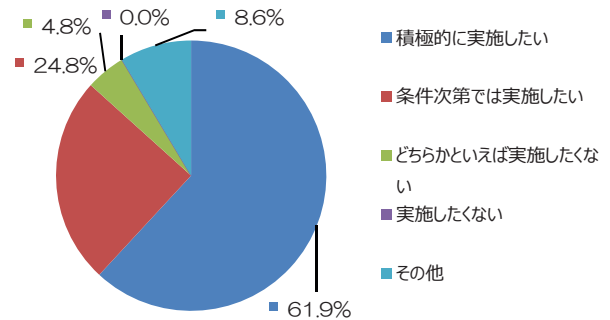
問10 「やまがた緑環境交付金事業」をご存じですか。(1つ選択)

交付金事業の認知度		回答数
①	事業名、事業の内容ともに知っている	55
②	事業名は知っていたが、事業の内容は知らない	30
③	事業名も、内容も知らなかった	19
④	無回答	1
計		105



問11 市町村と密接に連携しながら市町村内の森づくり活動を協働で実施していくことについて、どのようにお考えですか。(1つ選択)

市町村との連携		回答数
①	積極的に実施したい	65
②	条件次第では実施したい	26
③	どちらかといえば実施したくない	5
④	実施したくない	0
⑤	その他	9
計		105



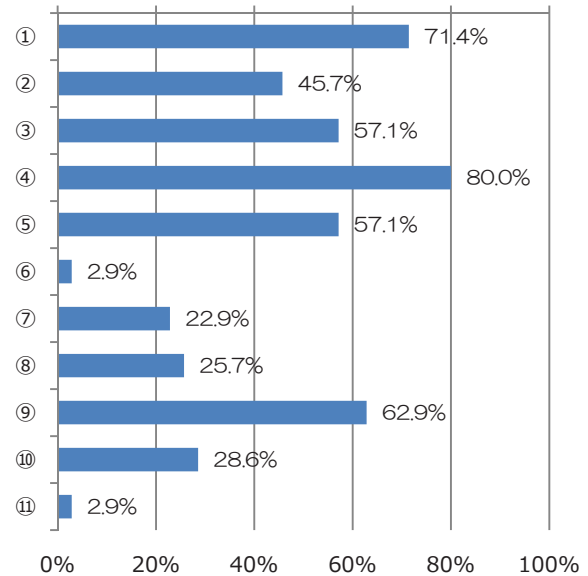
◆調査対象：市町村

<調査の概要>

- 1 対象：みどり環境交付金事業実施市町村
- 2 期間：平成27年10月～11月
- 3 回答：35市町村

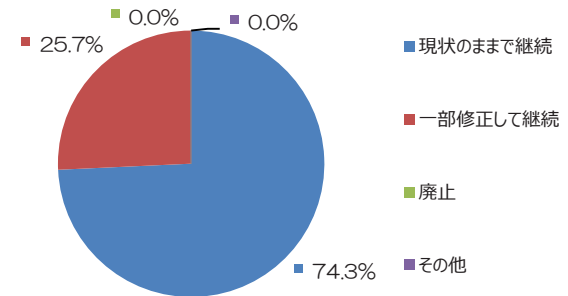
問1 交付金事業の実施により、どのような成果があったとお考えですか。（該当するもの全て選択）

事業の成果	回答数
① 森林に関する地域活動の活性化	25
② 森づくり活動による地域間交流の拡大	16
③ 森林・林業に関心がある住民の増加	20
④ 子どもたちへの森林環境教育の充実化	28
⑤ 森林整備による地域環境の改善	20
⑥ 林業後継者の育成	1
⑦ 野生動物との共存	8
⑧ 希少野生動植物の保全	9
⑨ 県産材の利活用、普及啓発	22
⑩ 木質バイオマスの利活用	10
⑪ その他	1



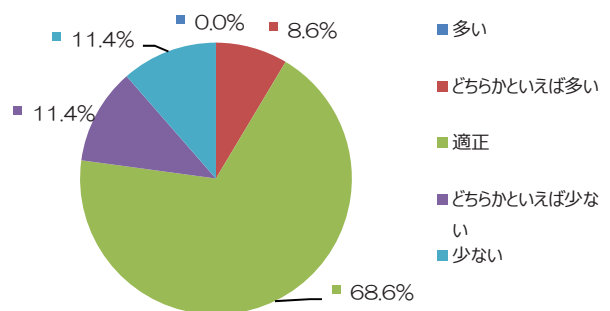
問2 交付金事業の今後の展開について、どのようにお考えですか。（1つ選択）

今後の展開	回答数
① 現状のままで継続	26
② 一部修正して継続	9
③ 廃止	0
④ その他	0
計	35



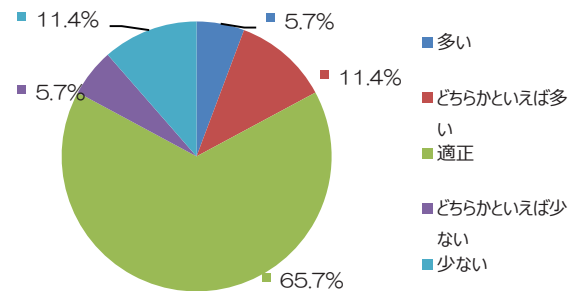
問4 交付金事業の現在の貴市町村の基本配分額についてどのようにお考えですか。（1つ選択）

基本配分額	回答数
① 多い	0
② どちらかといえば多い	3
③ 適正	24
④ どちらかといえば少ない	4
⑤ 少ない	4
計	35



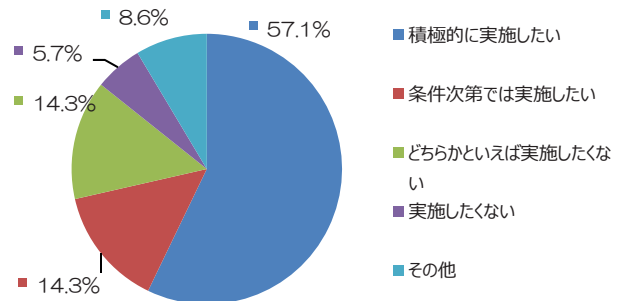
問5 特別配分枠の割合についてどのようにお考えですか。(1つ選択)

特別配分枠の割合	回答数
① 多い	2
② どちらかといえば多い	4
③ 適正	23
④ どちらかといえば少ない	2
⑤ 少ない	4
計	35



問8 公募事業実施団体と協働で貴市町村の森づくり活動を実施することについて、どのようにお考えですか。(1つ選択)

公募事業実施団体との協働	回答数
① 積極的に実施したい	20
② 条件次第では実施したい	5
③ どちらかといえば実施したくない	5
④ 実施したくない	2
⑤ その他	3
計	35



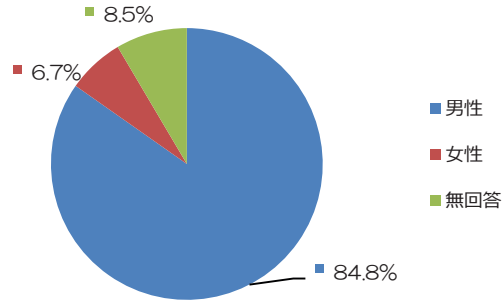
◆調査対象：森林所有者

<調査の概要>

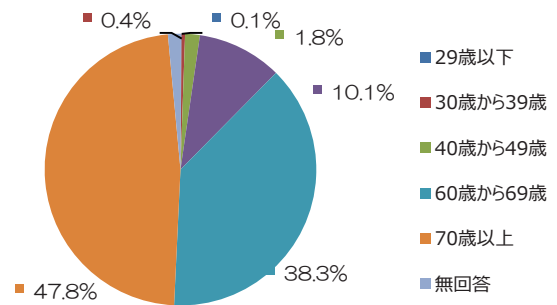
- 1 対象：やまがた緑環境税を活用して森林整備を実施した森林所有者
- 2 期間：平成27年8月
- 3 回答：741名

回答者属性

性別		回答数
①	男性	628
②	女性	50
③	無回答	63
計		741

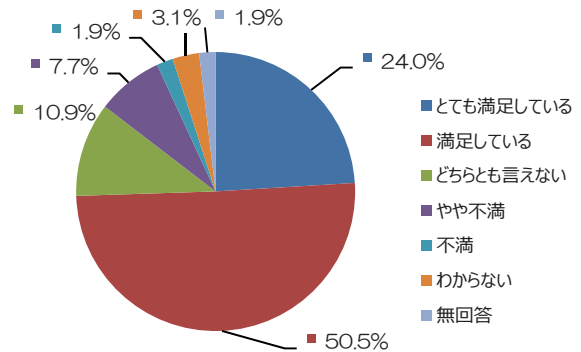


年齢		回答数
①	29歳以下	1
②	30歳から39歳	3
③	40歳から49歳	13
④	50歳から59歳	75
⑤	60歳から69歳	284
⑥	70歳以上	354
⑦	無回答	11
計		741



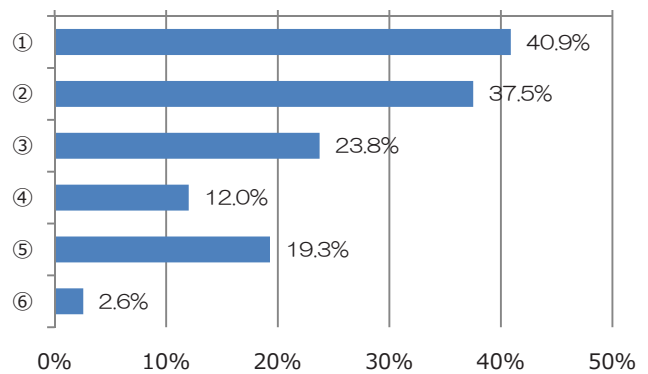
問1 県主導の山の手入れが行われたことについての感想をお聞かせください。(1つ選択)

事業を行っての感想		回答数
①	とても満足している	178
②	満足している	374
③	どちらとも言えない	81
④	やや不満	57
⑤	不満	14
⑥	わからない	23
⑦	無回答	14
計		741



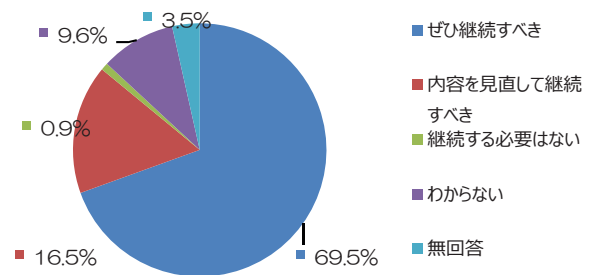
問2 県主導の山の手入れが行われたことにより、山に対する意識が変わりましたか。(2つまで選択)

山に対する意識の変化	回答数
① 必要性の認識が高まった	303
② 助成制度への興味が高まった	278
③ 森林の公益的機能への興味が高まった	176
④ 木材価格の動向への興味が高まった	89
⑤ 変化なし	143
⑥ その他	19



問3 今後も、やまがた緑環境税を活用した県主導での山の手入れを継続すべきと思いますか。(1つ選択)

県主導での森林整備の継続	回答数
① ぜひ継続すべき	515
② 内容を見直して継続すべき	122
③ 継続する必要はない	7
④ わからない	71
⑤ 無回答	26
計	741



問4 今後も、やまがた緑環境税の制度が継続されることになった場合、どのようなことを望みますか。(3つまで選択) ※森林整備を実施しなかった森林所有者を含む。

今後望むこと	回答数
① 県主導の手入れを拡充	594
② 伐った木の利用	559
③ 山の境界明確化	362
④ 植林その後の保育管理	292
⑤ 景観保全のため	346
⑥ 皆伐後、再植林に支援	182
⑦ 自力手入れの人に支援	195
⑧ その他	28
⑧ 無回答	2

